

学会彙報, 奥付

雑誌名	漢文學會々報
巻	33
ページ	38-45
発行年	1974-06-22
URL	http://hdl.handle.net/2241/00149239

学会彙報

○昭和四十八年度漢文學總會

〔漢文教育研究会〕六月三十日（土）於都立兩國高校

一、研究授業

高校二年漢文「種樹郭橐駝傳」

兩國高 糟谷 一氏

二、研究会

第一部

挨拶

兩國高校長 吉田 壽氏

教授者説明質疑應答討論

第二部

漢文教育とOHP

弘前大學 江連 隆氏

東京都主事 井關義久氏

新教育課程における漢文教育の問題点について

白鷗高 土屋泰男氏

質疑應答 討論

挨拶

漢文學會委員長 鎌田 正氏

〔研究發表會〕七月一日 於東京教育大學

一、『論衡』明雋篇とその問題点について

福島大學 大久保隆郎氏

一、『莊子』の郭象注について

京都教育大學 青木五郎氏

一、杜甫の絶句について 東京教育大學付屬高 田部井文雄氏

一、足利學校遺蹟圖書館所藏

老子河上公注鈔本について

高松高専 藤原高男氏

一、忍について

一、湛甘泉における「勿忘勿助」

一、雍のうへのつゆ

司會

埼玉大學 緒形暢夫氏
都立赤坂高 志賀一朗氏
都立北園高 渡邊弘一郎氏
午前部 中山・向嶋委員
午後部 櫻田・内山委員

〔總會〕

一、議長選出 加賀榮治氏を選出

二、報告

(1) 庶務報告

中村委員

(2) 研究一部報告

内山委員

(3) 研究二部報告

内山委員

三、議事

(1) 昭和四十七年度決算

鈴木委員

(2) 昭和四十八年度豫算

鈴木委員

(3) 委員改選

鈴木委員

挨拶

鎌田委員長

○昭和四十八年度月例会

十月例会 十月二十七日（土）於東京教育大學

一、隋詩の一側面―庾信との關係から見た特徴―

大學院 安藤信廣氏

一、戴季陶イヅムに關する一考察―儒教イデオロ

大學院 中島 東氏

ギーの復活とその背景―

大學院 中島 東氏

一、懷風藻の詩風の變遷について―藤原氏の詩か

ら見て―

研究生 山野清二郎氏

十一月例會 十一月三十日(土) 於東京教育大學

一、歸有光の文學―日常禮驗からの出發―大學院 松本 肇氏

二、十全大會前後にみる孔子批判―論文紹介―

大學院 越川 惠子氏

大學院 濱口富士雄氏

○昭和四十九年度漢文學教室講義一覽

(一) 一般教育科目

鈴木助教 漢文學講讀(文學)

大木講師 漢文學講讀(思想)

内山講師 漢文學講讀(思想)

(二) 外國語科目

牛島教授 中國語二(文法)

松本助教 中國語一(文法)

梅 講師 中國語二(會話)

長谷川講師 中國語二(作文)

志村講師 中國語一(文法・作文)

〃 〃 二()

中村講師 中國語一(讀本)

〃 〃 二(講讀)

牧田講師 中國語二(講讀)

〃 〃 三(上級)

(三) 專門教育科目

牛島教授 中國言語學特講(現代漢語)

〃 中國言語學演習(近世語資料)

今井助教 中國哲學演習

鈴木助教 中國文學概論

〃 中國文學演習(白話小説)

〃 中國思想史

〃 中國哲學演習

鈴木助教 中國言語學概論

〃 中國言語學演習(魯迅作品)

〃 中國文學史

横山講師 中國文學講讀(陶淵明)

〃 中國文學演習(溫庭筠)

〃 日本漢文學講讀

山井講師 中國思想史講讀(荀子)

水澤講師 中國言語學特講

王 講師 中國哲學講讀演習(論衡)

戸川講師 中國文學特講

伊藤講師 中國言語學演習

(四) 大學院科目

梅 講師 中國言語學講讀

牛島教授 中國言語學講讀

今井助教 中國思想史

鈴木助教 中國文學(晚唐五代詩)

松本助教 中國言語學講義

横山講師 中國文學(明代文學)

戸川講師 中國思想史(論衡) 學部共通

○文學部紀要論文(昭和四十九年三月)

杜甫詩の押韻について

○昭和四十八年度修士論文題目

一、現代中國語における「補語」の研究

一、孟子研究―性説を中心として―

一、周易における象と理について

一、戴季陶イズムに關する一考察（三民主義の解釋をめぐって）

一、隋代文學論

一、「人稱」に關する一考察

一、張橫槩の思想について

一、荀子における天の思想について

○昭和四十七年度卒業論文題目

一、郁達夫研究

一、紅樓夢研究

一、「聊齋志異」志怪論―變身譚を手がかりとして―

一、戴季陶の『日本論』について

一、丁玲研究―延安時代の丁玲と作品を中心にして―

一、周禮に於ける郷組織と遂組織について

○本會會員の次の方が亡くなりました。つつしんで哀悼の意を表し御冥福をお祈りします。

昭和四十八年十月二十日

兒玉公彦氏（教育大第十五回卒業、教育大修士、博士課程修

向嶋 成美

相原 茂

柳澤 二夫

小杉 順一

中島 東

安藤 信廣

福地 滋子

高田 博成

大久保文雄

小谷 一郎

沼尻 智恵

大澤 建樹

青木 實

高木 裕子

間嶋 潤一

了)

遺族 東京都荒川區東日暮里五一―一八一―一六

兒玉 啓子

次號原稿募集

左記により次號第三十四號の原稿を募集いたします。ふるって御應募下さい。尚、締切期日、原稿枚数は規定を厳守します。

一、締切 昭和五十年二月末日

一、枚數 四百字詰原稿用紙三十枚以内

一、採否 委員會に御一任下さい

基本大學教科研究教材

訓注 史記會注考證

王陽明傳習錄講本 山田 準 五〇〇圓

瀧川龜太郎・原田種成訓注

漢詩作法小講話 濱隆一郎 三五〇圓

列傳1 伯夷列傳・老莊申韓列傳 三〇〇圓

覆製 菜根譚 三五〇圓

列傳2 管晏列傳・廉頗藺相如列傳 二五〇圓

纂標 大學中庸章句全(増注版) 瀧川龜太郎 六五〇圓

列傳3 田單・呂不韋・刺客列傳 三〇〇圓

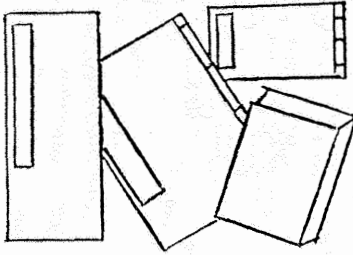
纂標 論語集註(増注版)全 一、二〇〇圓

列傳4 太史公自序 三五〇圓

纂標 孟子集註(増注版)全 一、五〇〇圓

世家1 孔子世家 三五〇圓

籍 漢 和
買 書 賣 古



松雲堂書店

東京都千代田區神田保町3~1
電話・東京 九 段 6498

古来の和語・漢語・事物名を総合編集する大辞典―覆刻！
日本類語大辞典

芳賀栄一校閲/志田義秀 佐佐木廣廣其編

A五判/釘綴入り/一、八八〇ページ・七、八〇〇円

字源の解釈が最も詳しい本格的な漢和辞典！

大字典

《特装版》A五判・七、八〇〇円

《普及版》B六判・四、八〇〇円

各一九六二ページ

上田万年・岡田正之・飯島忠夫・采田猛猪・飯田伝一 共編
新音訓・新送り仮名を採用した最新版！

講談社 国語辞典 改訂 増補版

久松藩一林 大阪倉篤義監修

小B六判/一、二六四ページ・二、三〇〇円

主要古典の語彙を網羅した画期的な古語辞典！

講談社古語辞典

佐伯梅友 馬淵和夫編

小B六判/一、一八四ページ・二、三〇〇円

日本最古の学校を総合的に研究した唯一の書！

増補 足利学校の研究

新訂 川瀬一馬著/B五判/三七六ページ・一八〇〇円

講談社

東京・文京・音羽

好評の「正史」に続く、中国随筆の訓点つき和刻本集大成！

和刻本漢籍隨筆集

〔第一期〕 全七冊 セット価二五〇〇〇円

- ① 五雜組 三五〇〇円
- ② 輟咩録・資暇録・希通録外 三五〇〇円
- ③ 容齋隨筆・野客叢書 三五〇〇円
- ④ 日知録・焦氏筆乘外 三〇〇〇円
- ⑤ 文海披抄・千百年眼 三〇〇〇円
- ⑥ 唐国史補・酉陽雜俎外 三〇〇〇円
- ⑦ 琅邪代醉編 五五〇〇円

〔第二期〕 全六冊 セット価二一〇〇〇円

- ⑧ 鶴林玉露・晁氏客語外 三五〇〇円
- ⑨ 聰訓齋語・漁樵問答外 三五〇〇円
- ⑩ 顏氏家訓・風俗通外 三五〇〇円
- ⑪ 荊楚歲時記・小窓別紀外 三五〇〇円
- ⑫ 困学紀聞・攷古質疑外 三五〇〇円
- ⑬ 西京雜記・搜神記外 三五〇〇円

■長澤規矩也解題／B5判上製箱入本／好評発売中

東京都千代田区飯田橋二一五十四
電話(二六五)九七六四 振替東京(五〇三)五

汲古書院

新しい国語辞典の完成をめざして

編集顧問 時枝誠記

今回の国語大辞典は、どのやうな言語的実践を成立させるものとして考へたならばよいのであらうか。この辞書は、どのやうな性格の辞書としたならばよいのであらうか。第一に、それは「書く」ための辞書、表記するための辞書ではないであらう。そのやうな目的のためのものであるならば、もっと手軽で簡単な用字用語辞典が工夫されるであらう。今回の大辞典はひとへに国語のあらゆる時代の、あらゆる種類の文献に見出される字面を、どのやうに理解すべきかを教えるものとして編集され、工夫されることにならう。(第一回編集会議の記録より)

編集顧問 金田一京助・佐伯梅友・新村出・時枝誠記

西尾実・久松潜一・諸橋敏次・山岸徳平

編纂委員 市古貞次・金田一春彦・見坊豪紀・坂倉篤義

中村通夫・西尾光雄・林大・松井栄一

馬淵和夫・三谷栄一・山田巖・吉田精一

日本国語大辞典 全20巻

- 二千人の権威の協力をあおぎ、十数年の歳月を費やす
- 五十万の見出しと二百万の用例を収録した日本文化の集大成
- 未来への橋渡しとなるように、こゝろを生きた形で把握
- 実用性に富んだ百科事典の役割を果たす知識の宝庫
- 昭和49年6月現在第11巻まで発売中 定価各巻5,800円

責任編集 日本大辞典刊行会 発行 小学館

福岡教育大學 助教 授 孤口 治編 東北大學中哲研究室刊

宋元學案補遺索引

謄寫版 B5判 三三〇頁 頒價二五、〇〇圓

「宋元學案補遺」百卷は清の王梓材・馮雲濠の共撰である。黄宗羲撰の「宋元學案」を校補する過程で、王・馮の二人はともにも收容しきれない膨大な資料を「補遺」としてまとめたものである。「補遺」に収録する宋・元の學者は約八千五百人で、宋元思想史ばかりでなく、廣く宋元一般の歴史と文化をさぐる上での一大寶庫といえる。その人名を畫數によつて整理し、更に異名索引を施して、利用に便ならしめるものが本書である。

東京・神田・神保町・二一七

發賣所 山本書店

電話 二六一—〇八四七

尙、本文の「宋元學案補遺」百卷は、四明叢書所收の木版本を影印したもの、洋装B6判 八冊
一一、〇〇〇圓が臺灣より出版され、在庫いたしております。

中國圖書輸入

校正 康熙字典	渡部 溫訂正	A 5	2册	5,280.
十三經注疏	付校勘記 清・阮 元撰	B 6	7册	14,000.
白氏長慶集	宋刻本影印	B 6	3册	4,950.
宋元明清四朝學案索引	陳 鐵 凡撰	B 5	1册	19,800.
魯迅全集	1973年 人民文學出版社	B 6	20册	20,000.
茅盾文集	香港影印版	A 5	10册	24,000.

専門書の御整理は… 琳瑯閣書店

古買書入

113 東京都文京區本郷 6-1-14
東大正門前 電話811-6555

漢籍・學術書・雜誌・等

東京大学名誉教授 倉石武四郎著

《新刊》

中国古典講話



中国の古典を、音読によって理解する方式を主張し実践してきた著者が、古典の読み方を示し、現代音による発音表記、語釈、通釈、鑑賞にわたってわかりやすく説いた。「訓読法」によって説いた書物は多いが、中国語音で古典の読解を試みた類書はない。

A5判・上製・272頁 ¥1800
〈カセットテープ・2本〉 ¥4000

新刊

< 茶 館 >

竹内 実著 四六判・上製 ¥1100

新中国年鑑 '74年版

中国研究所 編 定価6500円

大修館書店 〒101 東京・神田錦町3-24 振替/東京40504 ☎(294)2221〈大代表〉

●中国語学習に初めて採用したLL学習方式!!

好評発売中

Language Laboratory
LL

中国語

東京外国語大学助教授
興水 優著

現代中国語教育の権威が、最新の語学教育理論を駆使し、中国語を話し、聞く能力の養成のために完成した学習教材の決定版!!

■テキスト・テープセット…初級¥8800/中級¥6800/上級¥9000

〈分売定価〉

●初 級	●中 級	●上 級
テキスト……………¥800	テキスト……………¥800	テキスト……………¥1000
カセットテープ(全4巻)¥8000	カセットテープ(全3巻)¥6000	カセットテープ(全4巻)¥8000

中国語の話し方

興水 優著 新書判 ¥560

本書は中国語の初級を一応終った学習者を対象とし、発音を復習しながら基本表現、日常生活の表現を中心に最新の中国語が楽しく学べるテキストである。表現編は会話辞典として使える。

■カセットテープ¥1600 ■テープセット¥2160

大修館書店 〒101 東京・神田錦町 3 - 24 振替/東京40504 内容見本進呈

○東京教育大學漢文學會々則

- 一、本會は東京教育大學漢文學會と稱し、事務所を東京教育大學漢文學研究室に置く。
- 二、本會は漢文學及び漢文教育の研究と普及とを圖るのが目的である。
- 三、本會の會員は左の通りである。
 - 1 東京教育大學漢文學・東洋文學及び東京文理科大學、東京高等師範學校の漢文學關係教官（退官者を含む）
 - 2 東京教育大學漢文學大學院中國古典學專攻學生及び卒業生、並に東京文理科大學漢文學・東京教育大學東洋文學專攻卒業生
 - 3 その他入會を希望する者
- 四、本會の主な事業は左の通りである。
 - 1 總會 年一回
 - 2 例會 年約七回
 - 3 會報及び會員名簿の發行
 - 4 その他必要な事項
- 五、本會の役員は左の通りである。
 - 委員長 一名
 - 委員 若干名
 - 委員長は本會を代表し委員とともに運営に當る。
 - 委員は本會の研究・庶務・會計を分擔する。
- 七、委員長は委員の互選による。
 - 委員長は東京教育大學學部學生中から四名、大學院學生から二名、專任教官から三名、一般會員から四名をそれぞれの互選によつて選出する。その任期は二年（學生委員は一年）とする。但し重任は差し支えない。
- 八、會員は會費年額一千圓、（但し學生は半額）を納める。
- 九、本會會則の變更は委員會の審議を経て、總會出席者の過半数の承認を得なければならぬ。

編集後記

○漢文學會々報第三十三號を上梓できる運びになりました。これ偏に會員諸氏の御協力のおかげものと委員一同感謝していただきます。

○掲載論文を四篇に限つたのは専ら紙面の關係であり、願はくは更に多くのすぐれた論文を掲載したいものです。
○本號もまた共立社で印刷していただき幸いでした。
(中村記)

漢文學會々報第三十三號 昭和四十九年六月二十日印刷
昭和四十九年六月二十三日發行

東京教育大學漢文學會

編輯者

内山知也
中村俊也

印刷所

東京都千代田區神田神保町三ノ二〇
株式會社 共立社印刷所
電話 二一〇二一八

發行所

東京都文京區大塚三一九一
東京教育大學漢文學會
振替東京四七六〇〇番